

# 思春期の子育てを楽しもう！

## 子どもの成長と保護者の役割

医療法人水明会佐潟荘 医局

7月8日、阿賀野市児童・若者相談支援センター主催で増澤が『思春期の子育てを楽しもう！子どもの成長と保護者の役割』の講演を行った（場所；水原保健センター）。参加者は保護者、関係者含めて約70名。症例を通して、思春期は今までの関係を見直し、愛着の絆の結び直しの時期であることを伝えた。10代の脳の完成度は80%で、前頭葉とほかの領域をつなぐ配線が完成しておらず、幼少期に作られた神経ネットワークが整理される「刈り込み」と繰り返し刺激を受けることでシナプスに神経伝達物質の受容体が増えて定着していく。この時期の親子の関係性を樹木の植え替えの絵で表し、「思春期は象徴的に死と再生を迎えるため、現実の死と紙一重を生きている」ことを話した。現代は「乳幼児期に十分愛着関係が結べていない親子関係」が認められ、子どもは仲間指向性となって未熟な相手に親に対するような愛着を向けてしまいやすいが、本音は親を求めている。親は愛着の絆を結び直すために何をしたらいいのか、について伝えた。ある患者様からの「今、思春期の子どもさんを抱える親御さんへのエール」を伝えて終わった。

